
慶應義塾高校 Q & A

2017

慶應義塾高等学校

目 次

| | |
|-----------------|----|
| 学校生活に関するQ&A | 1 |
| 入学試験に関するQ&A | 5 |
| 出願 | 5 |
| 入学志願者調査書 等 提出書類 | 6 |
| 入学試験 | 7 |
| 推薦入試 | 8 |
| 入学手続 | 11 |
| 大学進学に関するQ&A | 12 |

学校生活に関するQ & A

Q1： 学校の規模はどれくらいですか？

A1： 生徒総数は約2,200名、各学年とも18クラスです。教職員は、校長ほか専任教諭約100名、非常勤講師約50名、校医3名、カウンセラー3名、看護師1名、事務室および図書室などの事務職員約30名です。

Q2： 規模の大きな学校ゆえに先生の目が行き届かない、といったことはありませんか？

A2： そのようなことはありません。クラス担任・学年配属の教諭からなる学年会があり、学年代表・生徒係教諭・協議会教諭（生徒会活動の担当）・各種委員会の担当教諭が協力して生徒の日常の学校生活を見守っています。また、クラブ活動については、教諭のほかOBの社会人・大学生も監督・コーチとして指導にあたっています。

Q3： 生徒の健康管理の体制はどのようになっていますか？

A3： 校内保健室には医師、看護師が常駐しています。4月には定期健康診断を行い、大学の保健管理センターの統括のもと、健康管理を行っています。また、カウンセラーも常駐して学校生活全般にも対応しています。

Q4： 地震等の天災への対応(校舎の耐震化・備蓄品・保護者への連絡)は、どのようになっていますか？

A4： 校舎の耐震評価をして、補強を実施しました。備蓄品については、校内に非常用の飲料水及び食料等を用意しています。また、保護者への連絡については、一斉連絡システムを導入しています。

Q5： 学期制はどうなっていますか？

A5： 前期・後期の2学期制を採っています。

Q6： 2学期制のもとで、夏・冬・春の休みはどのようになっていますか？

A6： 夏季休業は7月21日～8月31日、冬季休業は12月21日～翌年1月7日、春季休業は3月23日～3月31日と学則に定めています。

Q7： 学校は何時に始まりますか？

A7： 授業開始は午前8時20分です。

Q8： 1クラスの人数は何名ですか？

A8： 約40名です。

Q9： 文系・理系のクラス分けはありますか？

A9： 文系・理系のクラス分けはしませんが、各自の進路希望に沿った選択科目を履修します。

Q10： クラス編成はどうなりますか？推薦入試で入学した生徒だけの別編成はありますか？

A10： 一般入試、帰国生入試、推薦入試、内部進学からの入学者がほぼ同じ比率で18クラスに分かれます。

Q11： 制服はありますか？

A11： あります。黒の詰襟学生服です。靴は黒の革靴です。また、夏季期間（原則として6月～9月）には上衣なしの略装（夏季略装）も可となります。その場合、セーター・ベストの着用は認めています。カーディガンの着用は認めません。

Q12： アルバイトや、自動車・オートバイの免許の取得は禁止されていますか？

A12： 禁止はしていません。保護者のご判断に任せています。

Q13： 自転車通学はできますか？

A13： 学校までの自転車通学は認めていません。

Q14： 携帯電話の持ち込みは許されていますか？

A14： 特に規制等はしていません。

Q15： 毎日の学校生活で特に注意することは何でしょうか？

A15： 慶應義塾の生徒として誇りを持ち、それにふさわしい生活を送ることが肝要です。学校で決められたルールを守ることは勿論です。

Q16： 教育課程（各学年のカリキュラム表）はどのようになっていますか？

A16： 「学校案内」（School Guide）をご覧ください。

Q17： 大学と同一のキャンパスにありますか、カリキュラムの上で大学との連携はありますか？

A17： 第3学年次の選択科目に高大一貫講座が設けられていて、経済学部・商学部との連携が行われています。商学部の授業では本校生が大学生と一緒に授業を受けており、商学部に進学した場合には大学の単位として認定されます。経済学部の教員による授業も実施されています。また、希望者が放課後に大学理工学部や文学部の授業に参加しています。それぞれの学部に進学した後、単位認定される場合があります。

Q18： 定期試験はどれくらいありますか？

A18： 前期と後期、それぞれ中間試験と期末試験、年4回の定期試験があります。前期中間試験は5月中下旬、前期期末試験は7月上旬、後期中間試験は11月中旬、学年末試験は3年生が1月下旬、1・2年生は2月中下旬にそれぞれ実施します。

Q19： 定期試験の成績が不振な場合、補習などは行われるのでしょうか？

A19： 制度として補習はありません。

Q20： 土曜日の授業はありますか？

A20： 週5日制を採用していますので、土曜日の授業はありません。

Q21： 年間に、保護者会あるいはクラス担任との面談はどれくらいありますか？

A21： 学校としての保護者会は前期と後期に1回ずつ、クラス担任との面談は保護者会時のほかにも適宜行っています。

Q22： 塾に通っている生徒はどれくらいいますか？ 通塾は必要ですか？

A22： 学校の授業をしっかりと受けていれば成績に大きな心配は不要ですので、通塾が必要というわけではありません。ただし、自らの向上のために、一部の生徒は塾などにも通っているようです。

Q23： クラブ活動にはどのようなものがありますか？

A23： 文化系クラブは30、体育系クラブは44あり、90%以上もの生徒が加入しています。今年度も多くのクラブがインターハイ・国体に出場するなど活躍しています。詳しくは、本校ウェブサイト（ホームページ）をご参照ください。

Q24： レベルの高い部活でも初心者が入部してついていけますか。

A24： 初心者で入部した生徒でも、3年間継続して卒業していく生徒も多数おりますし、仮入部という制度がありますので、心配は不要です。

Q25： 複数のクラブに入部することはできますか。

A25： できます。

Q26： クラブ活動のほかに同好会はありますか。

A26： ありません。

Q27： クラブの活動時間は何時までですか？ 朝練は可能ですか？

A27： 授業終了後から最長で午後7時までが活動時間です。1時限開始（午前8時20分）前における朝練も可能です。いくつかのクラブで、チームあるいは部員個人として、朝練を行っています。

Q28： クラブ活動で使えるシャワールームはありますか？

A28： あります。

Q29： 体育系クラブの体験や見学などは可能ですか？

A29： 本校入学前の体験は行っておりません。ご案内はできませんが、適宜、見学は可能です。

Q30： 修学旅行はないのですか？

A30： 学年全体で旅行することはありません。用意された約20のコースの中から選ぶ「選択旅行」に、卒業するまでの間に1回以上参加することになります。

Q31： 選択旅行にはどのようなコースがありますか？

A31： 夏期と春期にそれぞれ約10コースほどが設定されています。2016年度実施予定のコースは、国内は北海道・北陸・奈良京都・山陰山陽・四国・九州・沖縄本島・御蔵島・八重山諸島・スキー／スノーボード・スポーツ体験・森林ボランティア体験などがあります。また海外のコースとして米国・中国・台湾があります。

Q32： 高等学校の施設にはどのようなものがありますか？

A32： HR 教室がある第一校舎、特別教室の A 棟（理科教室・音楽教室・コンピュータ教室・マルチメディア教室など）と B 棟（美術教室・図書室・地下体育館など）、日吉会堂（講堂兼体育館）、柔道場、LL 教室、全面人工芝の南側グラウンド、虻谷体育館、虻谷多目的コートなどがあります。

Q33： 日常、大学の施設は使えるのですか？

A33： 大学図書館には生徒証を提示すれば入館でき、所定の手続きにより蔵書を借りることも可能です。大学生協・大学学生食堂も利用できます。また、体育系の多くのクラブは大学生とともに大学体育会の施設を利用しています。

Q34： 高等学校専用の食堂はありますか？

A34： あります。

Q35： 地方出身ですが、寮はありますか？ また、下宿の斡旋などはしてくれるのですか？

A35： 本校生のための寮はありません。また、下宿の斡旋もしていません。

Q36： 特待生制度はありますか？

A36： ありません。

Q37： 奨学金制度はありますか？

A37： 奨学金には複数の種類があります。経済的に修学が困難な学生、または人物・学業が優秀な学生などを支援するための奨学金など、それぞれ応募資格および応募期限ならびに応募書類などが異なります。また、奨学金ごとに給付（返済ナシ）もしくは貸与（返済アリ）の種別も異なります。奨学金の参考情報につきましては、本校ウェブサイト（ホームページ）をご覧ください。

Q38： 海外留学のシステムはどのようになっていますか？

A38： 慶應義塾の「一貫教育校派遣留学制度」により選抜され派遣されることになった場合は、留年せずに1年間の留学が可能です。

AFS や YFU など学外主催のものについては、帰国後、原則として出発時の学年に戻るようになります。

授業等に差し支えない時期に、短期の留学をする生徒も多くいます。本校として、キングスコレッジスクール（英国）、ポールズスクール（米国フロリダ州）、セント・ジョン・ポスコ・ハイスクール（米国カリフォルニア州）との交換留学プログラムを用意しています。

Q39： 在学中に両親が海外に転勤した場合はどうなるのでしょうか？

A39： 生徒が国内に残って、在学し続けることが可能です。これまでの例では、親戚の家に同居する、保護者の勤務先や民間の学生寮に入る、下宿するなどが見られます。

両親と海外に行く場合は、その期間は休学することになります。休学期間が一定期間を超えると、退学することになります。

Q40： 休学や留学中は、授業料などの学納金はどうなるのですか？

A40： 通常と同じように納付していただきます。減額などの措置はありません。ただし、留学として認められた者は、復学後、留学期間の学費を減額する場合があります。

Q41： 慶應義塾ニューヨーク学院への転校は可能ですか？

A41： 制度としての転校はありません。ただし、同学院への編入学が許可される場合もありますので、入学後にご相談ください。

入学試験に関するQ&A

※ 本校が募集する各入試はすべて「2017年度入学試験要項」に沿って実施します。出願にあたっては、要項により詳細をご確認ください。

出 願

Q1： 海外在住の場合、出願書類は郵送ではなくクーリエ（海外宅配便）などでもよいのでしょうか？

A1： 海外から直接出願する場合、お手数でも「国内の代理の方」経由で手続きをおとりくださるようお願いしております。受験証は「国内の代理の方」あてに郵送します。ただし、やむを得ない場合には、国内の簡易書留・速達扱いに準ずる方法により、送付していただいても結構です。この場合にも、出願期間外の受け付けは一切致しませんので、ご注意ください。

Q2： 入学検定料の振り込みはネットバンクでも可能ですか？

A2： 入学検定料の振り込みはネットバンクではできません。必ず所定の「払込取扱票」でゆうちょ銀行または郵便局窓口にて振り込みをしてください。海外在住の場合は「国内の代理の方」に前述の方法で振り込みの依頼をしてください。

Q3： 保護者が海外に赴任していた場合、帰国生入試の出願に際して会社からの在留証明書は必要ですか？

A3： 必要ありません。

Q4： 提出書類に不備があった場合にはどうなるのでしょうか？

A4： 受験資格を満たしていないので不合格となります。入試要項を熟読し、漏れがないよう十分に注意してください。

Q5： 書類が封筒に入りきらない場合は別封筒でもよいですか？

A5： 所定の封筒に入りきらない場合は、別の封筒を使っても構いません。ただし、所定封筒の表裏面を切り取り、提出する封筒の表裏に貼付してください。また、欄に書ききれない場合は別の紙に書いたものを書類余白に貼り付けてください。

Q6： 入学願書は本人あるいは保護者など誰が書いてもよいのですか？

A6： どなたが書かれても結構です。

Q7： 過年度中学校卒業者の受験は認められますか？

A7： 認められません。入試要項の出願資格に記載のとおり、当該年度期間内に学校教育における9年間の課程を修了または修了見込みの者に限られます。

Q8： 中学3年生に帰国生として編入しました。帰国生入試を受験できますか。

A8： 2016年3月以降に帰国した場合で、帰国生入試の他の出願資格要件を満たしていれば受験できます。

Q9： 英語検定等によって英語の筆記試験が免除されることはありますか？

A9： そのようなことはありません。

Q10： 一般入試において公立高校や私立高校との併願受験は可能ですか？

A10： 可能です。

Q11： 慶應義塾湘南藤沢高等部のような全国枠はあるのですか？

A11： 一般入試、帰国生入試、推薦入試ともそのようなものは設けておりません。

入学志願者調査書 等 提出書類

Q1： 入学志願者調査書はどのように評価するのですか？ また、入学志願者調査書が占める割合はどれくらいですか？ 中学校間に学力格差があるとも言われていますが、入学志願者調査書の成績をどのように調整するのですか？

A1： いずれの質問も合否の判断に関わることなので、お答えできません。

Q2： 中学校の時に骨折をして通院のため欠席・遅刻が多いのですが、このようなものはマイナスの評価になるのでしょうか？

A2： ケガや病気などの理由の明らかな欠席・遅刻に関しては考慮します。調査書に書いていただくか診断書のコピーなどを添付してください。

Q3： 中学での欠席事由に関する医師の診断書の提出は必要ですか？

A3： 中学校からのコメントが具体的かつ詳細に記述されていれば提出の必要はありません。可能ならば診断書のコピーなどを添付してください。

Q4： 例えば不登校などの事情によって入学志願者調査書の記載が不利になってしまうような場合、入試にはどの程度影響するのでしょうか？

A4： 具体的に事情を記載して出願してください。個々に検討します。

Q5： 中学校が2学期制の場合は前期の成績が良いのでしょうか？ 中学校から後期の中間テストまでの成績を組み込む、といわれました。こちらが良いのでしょうか？

A5： 中学校が発行する成績で結構です。

Q6： 一般・帰国生入試の「入学志願者調査書」について、「事実の記録」欄に資格等の名称を記入した際、資料の添付は不要ですか？

A6： 「入学志願者調査書」は、在学する中学校が「公文書」として本校宛に発行するものですので、資料添付は不要です。ただし、「入学志願書」の〔特技〕欄に記入する項目については、資料などを添付してください。

Q7： 中学1年では国外の現地校に通っていました。「入学志願者調査書」の第1学年の成績は現地校の通知表を同封すれば良いのでしょうか？ その際には日本語訳など必要でしょうか？

A7： そのようにしていただいても結構です。日本語訳などは可能であるならば添付してください。

Q8： 国外現地校の9年の課程を修了しました。5段階評価の成績表記が国内の中学校と異なります。その説明を書き加えても良いですか？ また、現地の教師に補足をお願いすべきですか？

A8： 各国の標準的な成績評価資料については、特に説明資料を添付していただく必要はありません。補足説明を希望する場合は別紙を添付してください。

Q9： 中学3年の2学期に転校した場合、必要書類（入学志願者調査書など）は卒業予定の学校で書いていただいたほうがよいですか？

A9： そのようにお願いします。

Q10： 中学3年で転校した場合、「入学志願者調査書」における第1・第2学年の評価はどのようにすればよいですか？

A10： 国内中学あるいは日本人学校からの場合には、転校前の学校から現在の中学校へと資料が引き継がれますので、それに基づいて卒業予定である現在の学校で記入していただいでください。

入学試験

Q1： 過去問題集は販売していますか？

A1： 市販されていますが、本校では販売していません。

Q2： 受験会場はどこですか？

A2： 本校校舎の教室が会場となります。三田および日吉キャンパスの大学校舎ではありませんのでご注意ください。

Q3： 受験の際、上履きは必要ですか？

A3： 必要ありません。

Q4： 受験の際、自動車で行ってもよいですか？

A4： ご遠慮ください。ただし、車椅子使用もしくはケガ等で自動車を必要とする場合、事前にご相談ください。

Q5： 昼食の用意は必要ですか？

A5： 一般・帰国生1次試験では昼食を用意してください。同2次試験と推薦入試では、昼食の準備は必要ありません。

Q6： 試験時間中、保護者が待つ場所はありますか？

A6： 高等学校食堂棟を保護者控室として用意しています。

Q7： 一般・帰国生入試の1次試験の際の昼食は、保護者と一緒にとっても構わないですか？

A7： 保護者の保護者控室である食堂棟においてであれば構いません。ただし、試験当日は食堂としての営業は行っていませんのでご注意ください。

Q8： 一般・帰国生入試の1次試験で特に重視される科目や、科目ごとの足切りはありますか？

A8： 可否の判断に関わることなので、お答えできません。

Q9： 昨年の一般・帰国生入試の1次試験の最低合格ライン、平均点を教えてください。

A9： 1次試験の各問題への配点や合格ライン、平均点などについては、公表しておりません。

Q10： 一般・帰国生入試の1次試験における筆記試験と調査書との合否判定の比率はどのようなものですか？

A10： 可否の判断に関わることなので、お答えできません。

Q11： 一般・帰国生入試の2次試験ではどのような面接が行われるのですか？

A11： 受験生の意欲や人柄を総合的に判断することができるような面接をいたします。

Q12： 面接試験の所要時間はどれくらいですか？ 面接官は何人ですか？ テーマや質問内容はどのようなものですか？

A12： 公表しておりませんので、お答えできません。

Q13： 一般・帰国生入試の2次試験における合否判定には、1次試験の結果も考慮されるのですか？

A13： 総合的な判断のもとに判定を行っております。

Q14： 昨年の受験者数・1次試験合格者数・補欠者数などを教えてください。

A14： 過去3年間の結果は「学校案内」(School Guide)に掲載されています。

Q15： 補欠者は何人くらいいて、実際に入学許可が下りるのはどの程度までですか？

A15： 一般・帰国生とも補欠者はグループごとに発表します。補欠者の入学許可数は年度によって異なります。なお、推薦入試には補欠者はありません。

Q16： 一般・帰国生入試の補欠者への入学許可の通知はどのように、いつまでになされるのですか？

A16： 補欠者への入学許可は電報にて通知します。詳細は2次試験の合格発表の際にお知らせします。

Q17： 一般入試における補欠繰り上げ合格入学者の人数は具体的にどれくらいですか？

A17： 入学者数における正規合格者数と補欠繰り上げ合格者数の内訳については、公表しておりません。

推薦入試

Q1： 推薦入試に関して慶應義塾高等学校では中学校の先生方との打診(入試相談)は行われますか？

A1： 打診(入試相談)は行いません。

Q2： 慶應義塾志木高等学校の推薦入試と併願できますか？ また、推薦入試で合格した場合に、慶應義塾志木高等学校の一般入試・帰国生入試や慶應義塾湘南藤沢高等部の全国枠入試・帰国生入試を受験できますか？

A2： 推薦入試を受験する中学生は本校を第一志望とすることが出願資格の要件の1つです。そのようなことは起こらないと想定しています。推薦入試制度では、どこよりも本校への入学を希望する中学生に受験していただきたいと考えていますので、受験の際には自分の志望をよく確認した上で出願してください。

Q3： 出身中学校長の推薦書が得られない場合、推薦入試は受験できないのですか？

A3： できません。

Q4： 海外で9年の課程を修了し、現在日本国内の中学3年に在籍しています。推薦はどちらの校長にお願いしたらよいですか。

A4： 卒業見込みも含め2つの中学校を卒業することになる場合はどちらの校長でも構いません。

Q5： 推薦入試の出願資格は、中学3年の1～2学期の9科目合計ですか、それとも1年～3年2学期までのすべての平均の合計ですか？

A5： 中学3年1～2学期の9教科の成績合計が5段階評価で38以上というのが出願資格となります。

Q6： 中学校が2学期制の場合、推薦入試の出願資格である「9教科の成績合計が5段階評価で38以上」とはいつの時点での成績になりますか？

A6： 前期の成績もしくは後期中で学校が発行する時点での成績です。

Q7： 在籍中学校は5段階評価ではなく10段階評価です。どうしたらよいのでしょうか？

A7： それぞれの中学校で5段階評価に換算するはずですから、それに従ってください。

Q8： 出願資格に「9教科の成績合計が5段階評価で38以上の者」とありますが、実際にはもっと高い基準であって38程度では足切りされるということがありますか？

A8： そのようなことはありません。

Q9： 出願資格にある「顕著な活躍」とは、スポーツならばどのレベルの大会で、文化芸術活動ならばどのレベルのコンクールで、どの程度の成果を残していなければならないのでしょうか？たとえばスポーツで、区大会、市大会の入賞程度では出願資格はないのでしょうか？また、生徒会活動や学校外の活動（例えばボーイスカウトなど）は顕著な活動として評価されるのでしょうか？

A9： 具体的な基準は特に設けていません。自分で「この分野で活躍した」と自信を持って言える志願者を待っています。中学校では部活動として行われることの少ないスポーツや、中学生のみを対象としたコンクールがない文化・芸術活動で活躍した中学生にも門戸を大きく開いています。提出された書類を十分に検討して判断します。

Q10： 国外の現地校第9学年を6月に卒業し、7月より日本の公立中学校に通っています。そのような場合、中学校の成績とは現地校のものでよいのでしょうか？推薦入試での「中学校第3学年2学期の9教科の成績合計が5段階評価で38以上」という資格については、どのような扱いになりますか？

A10： 「38以上」の扱いは、中学校第3学年に相当する学年を国外現地校で修了した場合、その限りではありません。

Q11： 国外の学校から日本の学校へ中学3年の7月に転入した場合、国外での成績と日本国内での成績を合わせて推薦入試を受験することはできますか？

A11： 中学校第3学年に相当する学年を国外現地校で修了した場合には、A10でお答えしたとおりです。中学校第3学年に相当する学年を修了していない場合、帰国後の中学での成績が出願資格「38以上」を満たしていることが出願要件の一つとなります。

Q12： 中学3年の1学期まで現地校に在籍し、2学期から国内の公立中学に編入しました。一部教科にハンディキャップがあり、結果として「9教科の成績合計が5段階評価で38以上」という基準に達しない場合、何らかの考慮はされるのでしょうか？

A12： 個別の考慮はいたしません。

Q13： 中学3年の3学期に転校した場合、推薦入試における「入学志願者調査書」は転校前の中学校で用意し、中学校長の推薦書は転校後の中学校で用意すれば良いのでしょうか？

A13： 各中学校が用意する書類で結構です。

Q14： 「志願者をよく知る方」とは、どういう人物を想定すればよいのですか？

A14： 運動・文化芸術活動の指導にあたった方などを想定しています。ただし、二親等以内の方の記載は避けてください。

Q15： 推薦入試に必要な活動記録の証明書類は複写したものでよいですか？

A15： 提出いただいた書類は一切返却いたしませんので、複写したもので結構です。

Q16： 顕著な活動を示すものとして表彰状などが無い場合、表彰式の写真やメダルなどは活動記録の証明になりますか？

A16： 本人と確認できるような公式の書類などが必要となります。

Q17： 「志願者をよく知る方」が外国人の場合はどのようにしたらよいですか？

A17： 日本語訳したものを本校所定の用紙にお書きください。また、原文を添付してください。

Q18: スポーツで個人的には対外的にも評価をいただいておりますが、チームとしての成績は今一つ芳しくありません。その場合は公式戦における個人の記録をできるだけ詳しく記載する方がよいでしょうか？

A18: そのようにしていただいても結構です。

Q19: 推薦入試における学習成績と活動記録との合否判定の比率はどのようなものですか？

A19: 合否の判断に関わることなので、お答えできません。

Q20: 推薦入試では内申点の高い受験生が有利になるのですか？

A20: 合否の判断に関わることなので、お答えできません。

Q21: 推薦入試に合格したあと、他の高校に入学を決めても構いませんか？

A21: 推薦入試は本校を第1志望とするものを出願資格としております。合格後の入学辞退はないものと考えます。

Q22: 推薦入試で合格したあとに、一般または帰国生入試を受験できますか？

A22: 本校は1人の受験生に対し、異なる入学試験制度で重複しての合格を認めておりません。合格者が一般または帰国生入試の検定料を既に納入した場合には、所定の手続を取ることによって後日返金いたします。

Q23: 推薦入試で不合格になった場合は、一般または帰国生入試を受験できますか？ またその場合、検定料が必要になりますか？ 提出書類ももう一度全て用意しなければならないのですか？

A23: 受験できます。入学試験の制度が異なりますので検定料と出願書類の再提出が必要です。一般入試については、できるだけ推薦入試の合否を確認したのちに出願してください。帰国生入試については、出願の締め切り日が推薦入試より早い場合、あらかじめ出願してください。

Q24: 推薦入試を受ければ不合格の場合でも一般入試で得点が加算されるなど、有利になるということがありますか？

A24: そのようなことはありません。

Q25: 推薦入試の2次試験で不合格になった場合、一般入試で再度チャレンジしたいと思いますが、推薦入試の結果が影響するのでしょうか？

A25: 推薦入試と一般入試・帰国生入試は別の入試制度ですので、影響されることはありません。

Q26: 推薦入試に合格した場合、評価された活動などを入学後も継続しなければいけないのですか？ 継続を考えていない場合には入試において不利になりますか？

A26: 継続を強制するようなことは一切しておりません。

Q27: 文化系・芸術系で合格し入学する受験生はどれくらいいますか？

A27: 体育系の受験生と文化系・芸術系の受験生との間に人数的な区別は設けておりませんので、年度により人数比は変わります。

Q28: 行っているスポーツによって有利、不利はありますか？

A28: 特定のスポーツを優遇するような入試制度ではありませんので、そのようなことはありません。

Q29: スポーツ推薦はありますか？ また、スポーツクラスというものはありますか？

A29: スポーツ推薦というものはありません。また、クラス編成にあたって特別な配慮は行っていません。

入学手続

Q1： 公立校合格発表までの延納制度はありますか？

A1： 延納制度はありません。

Q2： やむを得ない理由により指定期日以降3月末日までに入学辞退が発生した場合、入学手続きの納入金などはどのように取り扱われますか？

A2： それぞれ事情を確認させていただきますが、原則として入学金以外はすべて返金いたします。

Q3： 慶應義塾志木高等学校または慶應義塾湘南藤沢高等部に合格した場合、入学金は各校に支払わなくてはいけませんか。

A3： いいえ、その必要はありません。先に入学手続きをした高校への学納金の全額を実際に入学する高校の学納金に振り替える事ができます。

Q4： 現在、長男が慶應義塾高等学校に在籍しています。次男がこのたび受験しますが、合格した場合には学費など納入金に減免措置がとられますか？

A4： そのような措置はとりません。

Q5： 補欠者に入学許可が下りた場合、入学費用に追加負担はありますか？

A5： 一切ありません。

Q6： 入学手続はどこで行われるのですか？ また、手続に受験生本人が行く必要はありますか？

A6： 手続は本校で行われます。本人ではなく保護者またはその代理の方でも構いません。

Q7： 入学にあたって、下宿する際に身元引受人が必要などの条件はありますか？

A7： 保証人はすべての入学者に必要なになります。本人が正保証人と同居していない場合は、国内在住の副保証人が必要となります。

大学進学に関するQ & A

Q1： 慶應義塾大学への推薦はどのようになされるのですか？

A1： 推薦は、本校を卒業し慶應義塾大学への入学を第1志望とする生徒に対し、その卒業年度の1回に限り、慶應義塾大学のいずれかの学部で校長によって行われます。推薦するか否か、どの学部で推薦するかは、本人の希望を尊重しながら、在学中3年間の成績の総合評価、適性、出席状況、授業態度などを考慮して決定します。学部ごとに推薦できる上限人数もあり、必ずしも第1志望の学部で推薦されるとは限りません。その場合は、第2志望以下の学部で推薦されます。

Q2： 成績不良によって大学推薦を受けられない生徒はどれくらいいますか？

A2： 成績面に限って言えば、3年間とも進級できる成績であれば推薦が受けられます。

Q3： 将来、他大学への進学も考えています。慶應義塾大学への推薦を辞退せず他大学を受験できますか？

A3： 他大学を受験する場合は、原則として「推薦辞退届」を提出しなければなりません。ただし、条件を満たせば例外的に、慶應義塾大学への推薦を辞退せずに他大学を受験できる場合もあります。

Q4： 慶應義塾大学への推薦を辞退した卒業生は、具体的にどのような進路を選んでいるのですか？

A4： 医学部・医科大学、歯学部・歯科大学、芸術系の大学等へ進む場合が多いようです。

Q5： 慶應義塾大学以外の大学への推薦はありますか？

A5： 他大学の推薦入試を受験することは可能です。

Q6： 大学進学についての説明会などは行われますか？

A6： 本校主催のもの、本校生徒会主催のもの、各学部等主催のものを含め、慶應義塾大学各学部の説明会や見学会、模擬講義などの機会が年間に何回かあります。これらの中には参加者を3年生に限ったものもありますが、多くは1年生から参加でき、また、保護者が参加可能なものもあります。